



だより



R7.1.14 Vol.34

3学期スタート!

3連休を挟みましたが、3学期がスタートして一週間が経ちました。子供たち!元気に登校してきています。冬休みの健康管理、ありがとうございました。

始業式、子供たちに「小さな思いやり」を大切にしてくださいという話をしました。例えば挨拶。挨拶は礼儀やマナーとして指導することが多いのですが、何気ない挨拶を交わすことも大切な思いやりなんだよと伝えました。

相手がしてくれた挨拶に対して、自分もしっかりと挨拶を返す。「大きな声ですればいいんでしょ?」そんな形式的、機械的なものではなく、そこには相手を大事にしたいというお互いの思いがあるんじゃないかと私は思います。

そんな小さな思いやりが集まっていつの間にか大きな思いやりにみんなが包まれる。そんな素敵なお話にしたいですね。そんな話をしました。

今年も、また今学期もどうぞよろしくお願いします。

手段と目的

4年生の女の子との会話です。「私、タブレットで漢字練習するの嫌いなんです。」「なんで?」「点を打ってもすぐ反応してくれないというか、遅れるというか…わかります?」「あ!わかる!時間差があるんやろ?」「そうです!そうです!」

これって核心ついてますよね。何のための漢字練習なのか?タブレットの反応に合わせて学習したいわけではありません。ここは意識しておかないと手段と目的が入れ替わってしまいます。

機動戦士ガンダムのアニメの中に強化人間が出てきていましたが(古くてすみません…)AIの急速な進化に伴って「人間強化」に大真面目に取り組んでいる人たちもいるようです。

科学技術の進歩に合わせて人間を変えようなど本末転倒もいいところです。と私は思います。

四方山話真穴 ver. 其の三十四(教え子)

昨年末、教え子が亡くなりました。享年43歳。私が新任教師として赴任した学校、初めて担任した学級の中にいた、当時小学校3年生の子供でした。今思えば、大らかな時代でもあったので、子供の頃は、車に乗ってメダカ採りに行ったり、キャンプに連れて行ったり、成人してからはちょくちょく飲みに行ったり。担任してから35年間、ずっと付き合いが続いていた子でした。柔道の指導者でもあり、「まさちゃん!(成人して、雅人先生からそう呼び名が変わりました。笑)黒帯取らせてあげらい!一緒に練習しようや!」と誘われ、教え子に弟子入りもしていました。「俺の結婚式は先生がスピーチしてくれたけん、先生の葬式は俺がきちんと見送ってあげるけん!心配せんでええ!」そんなことも言っていました。闘病を続けていた2年間もまめに連絡をくれ、調子のいいときは飲みに出たり、二人でドライブに行ったり缶コーヒ一片手に「俺は負けんで!」と将来の夢を語ったりしてくれていました。ご家族が連絡をくれ、息を引き取る1時間前まで一緒に居させていただきました。これまでたくさん知人を見送ってきましたが、教え子の死は私にとって受け入れ難いものでした。こいつのエピソードをよくSNSにも投稿していました。迷いはありましたが、一つの区切りにしたくて、これまでの思い出と亡くなったことを投稿しました。それを見た年齢も学校も違う教え子が「先生、僕では全然、力不足かもしれませんが、でも、もし先生が旅立つときが来たら、僕が責任持って見送りますから。」そんな連絡をくれました。また別の教え子が「先生!女子大生と飲み行きたいでしょ?新年会のお誘いで〜す!」と連絡をくれました。これまでの教員人生、腹が立つこともしんどいことも正直ありましたが、「こいつが教え子でよかった。教師で本当によかった!」と思えることができた年末年始でした。順番守らずに先に逝ってしまったこいつの分まで、精一杯生きたい、そしてこれまでの教え子もこれからの教え子も大事にしたい。私の新年の抱負です。

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思っております。